



マイクロソフト 代表執行役 社長 樋口泰行さん ひぐち・やすゆき

「昔から仕事に100%没頭しないと時間の無駄の読書は苦手でした。それでも、友人に贈られた本に感銘を受けたり、書店でふと題名がその時の自分の心情を突くような本に出会ったりすることがあります。アップルコンピュータ、日本ビクター、パナソニックなどで活躍した後、ダイエー再建に尽力、現在はマイクロソフトとさまざまな現場をリーダーとして先導。信条は「愚直」という樋口泰行さんに、心に残る本を聞いた。

幸せは今をがんばるプロセスにある

私にとって、読書とは必要な知識の吸収です。例えば松下電器産業現パナソニックで技術者としていた頃は回路設計の解説書、ハーバード大学の経営大学院で学んでいた時代は経営学のテキストに没頭し、歴史物などに親しむ時間は持てませんでした。ところがそんな私にも、仕事とは少し離れた関心から手にした本があります。それが最初に紹介する「HAPPY」へ

過去を捨て、変化を恐れぬ 挑戦心を触発してくれた本

とていう本で、これは社員と共に再建に取り組んだダイエーの社長を退任したところに出合った本です。が、それはそれだけ結果が出ると信じ、仕事一辺倒でやってきた私でしたが、ダイエーでは結果が出ないことも体験しました。それでもあきらめず、必死で目標に到達してみても、なぜか充足感がない時が人にはあります。周囲の反対を押し切っても、それで社員が幸せになる」という信念で行動するのリーダーですが、同時に「そもそも人の幸せとは何か」ということも考える

会社の発展のためには哲学が必要

日本ビクター・パナソニックではコンパックコンピュータの巨大合併に伴うシステム統合や業績回復をダイエーでは大胆な組織改革を推進。2007年にマイクロソフトの経営を任された後も言動が注視されるが、「時がたつほど、自分の出発点となった松下時代に教えてもらったもの大ききを感じます」と語る。



1957年兵庫県生まれ。80年大阪大学工学部電子工学科卒業。同年松下電器産業(現パナソニック)入社。91年ハーバード大学経営大学院(MBA)卒業。92年ポストコンシューマリンググループ入社。94年アップルコンピュータ入社。97年コンパックコンピュータ入社。2002年日本ビクター・パナソニック(日本HP)との合併に伴い、日本HP執行役員インダストリアルシステムグループ(統括部長)兼。03年同社代表取締役社長兼COO。05年産業再生機構の支援で再建中のダイエー代表取締役社長兼COO。07年3月日本法人マイクロソフト代表執行役員兼COO。08年同社代表執行役員社長兼米国本社コーポレートバイスプレジデントに就任。

「それは、会社として発展していくためには哲学が必要だ」ということ。単純なようで、我々の給料はお客様から出ているわけで、お客様を向いて仕事をせずに、誰の方を向くのか。それにプラスして社員に関して

「まずまず重要度増す トップのIT戦略」 さまざまな企業の経営を経験した中で、マイクロソフトという企業の「だいたい」は「技術革新の、そしてソフトウェアの可能性を信じていることが社員の求心力となり、社会に大きなインパクトを与えられること」だと語る。

樋口泰行さんがすすめる5冊

「リーダーを育てる会社つづす会社」(英治出版) ラム・チャランほか・著 グロービスマネジメントインスティテュート訳

「なぜ日本企業の情報システムは遅れているのか」(日本能率協会マネジメントセンター) 玉生弘昌・著

「ダイエーの隆盛 企業参謀の告白」(日経BP社) 田畑俊明・著

「成功は一日で捨て去れ」(新潮社) 柳井正・著

「HAPPIER 幸福も成功も手に入る シークレット・メソッド」(幸福の科学出版) タル・ベン・シャハー著 坂本真一訳

負けん気 立浪和義 悔いは残さない。 その一念でやってきた ひたすら前を向き、 信念を貫き通した男の生き様。 22年間のプロ野球人生 惜しまれつつ引退

今度こそ、この一冊で やり直せる。 人生を好転させる 「新・陽転思考」 和田裕美

不機嫌な女子社員とのつき合い方 産経新聞19朝日新聞24で紹介されました!!